

令和6年度 信学会しらかば幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- (1) 明るいあいさつができる子 (2) 元気に遊ぶ子 (3) 思いやりのある子

2. 本年度の重点目標

○力を入れている活動

- (1) 言葉に親しむ活動・・・読み聞かせ、おはなしの日（図書選択を自分で）、聞く姿勢作り
 (2) 体を動かしてあそぶ活動・・・園庭での運動あそび、集団遊び、自由遊び、マラソンや体操、ツリーハウス（ターザンロープ）スラックライン
 (3) 自然に親しむ活動・・・動物とのふれあい、植物や昆虫の観察、園庭の木の果の利用、豊かな自然の中での活動

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員会（モニター会）からの評価

- (1) ① 園の雰囲気・・・とても良い9人（90%）、良い1人（10%） 普通0、よくない0
 ② 職員の対応・・・とても良い9人（90%）、良い1人（10%） 普通0、よくない0
 上記の集計のように、ほとんどのモニター様より、とても良い評価をいただくことができた。
- (2) 子どもたちが、その日に園であったことを家庭で楽しく話せることが保護者からの信頼につながっている。また、職員間での情報交換がなされているので、園児のケガや事故について、どの職員も保護者と話し、園全体で対応していることを伝えられるので安心感を持っていただくことができた。今以上に、園児がどのように、どのくらい成長しているのか、成長の姿をたくさん発信して保護者の皆様と情報共有できることが、信頼される園として認められる第一条件と考える。
- (3) 園門での送り迎えの職員の明るく元気な挨拶が好評である。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度の課題

- 3 学期には、不審メールへの対応により、園門でのセキュリティ対策を高めた。保護者の皆様にはチェーン錠の開錠の手間を増やすこととなったが、園での対策にはご理解をいただくことができ、「子どもたちの安全への配慮があってよい」と、保護者の皆様からも良い声が届いている。
- 「ヤギの飼育により、子どもたちに動物愛護の心や生き物を世話することへの情操が高まったように感じる」「かわいがるだけではなく、掃除も必要なことをわかってくれた。」との評価を複数の方よりいただくことができた。
- 現在行っているきめ細かな子ども支援を継続し、子どもを園運営の中心に考え、魅力ある幼稚園となるように工夫し、園運営の充実を図っていく。
- 保護者アンケートや入園を決めた理由から「しらかば幼稚園の先生方が、明るくて温かくて子どもたちも保護者も感謝している。」との回答がとても多かった。職員には、これら元気が出るように認められた点を紹介し、より一層頑張れるように働きかけを行った。
- 感染予防などについて、職員一人ひとりが丁寧な消毒などの日常の取組を徹底してきた。その中でも、インフルエンザの蔓延があった。さらに、感染対策として、清潔、予防環境を整える取組を継続していく。
- 子どもの課題を保護者と関係する諸機関と情報共有できるように心がけてきた。その成果として小学校へのつながりがスムーズになり、入学後の適切な支援につなげることができた。
- 読み聞かせ（おはなしの日）は、豊かな心の醸成に重要なので、日常的に継続して取り組んでいく。質の高い児童図書の選定を心がけ、蔵書をさらに充実させていく。
- HPの更新や画像の配信では迅速さと内容の豊富さを大切にしてきた。「タイムリーに子どもたちや行事の様子を見ることができてありがたい」との声があった。継続していきたい。
- どんぐり教室で来た小さい子どもたちに、園児が自然と声をかけたり、一緒に活動では柔らかく接したりするなど、思いやりの気持ちが育っていると感じられる。
- 「お子さんは安心して楽しく園に通えていますか」についてほぼ全員の方から良い回答を得られている。このことに甘んじず、一層のきめ細かな保育を心がけるよう、職員指導を行っていく。
- 「今日も幼稚園で楽しかった」と子どもが帰宅後に家族に話せるような、毎日の営みをこれからも大切にしていきたい。
- 職員が自信を持ち、明るく朗らかに、日々の保育を継続できるように励ましていきたい。